

編集方針

カシオでは、持続可能な社会の実現に向けたカシオのCSR（企業の社会的責任）の取り組みについてステークホルダーの皆様へ報告するとともに、今後の取り組みのレベルアップに向けてステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図ることを目的に情報を開示しています。

- 報告媒体として、読者の皆様に関心事に合わせてご活用いただけるよう「環境・CSRウェブサイト」「サステナビリティレポート」「CSR Communication Book」の3つの媒体を用意しています。

【環境・CSRウェブサイト】

カシオのCSRの取り組みを網羅的に報告し、検索性に優れたウェブサイトを目指し情報開示しています。

【サステナビリティレポート 2013】

「環境・CSRウェブサイト」の情報をダウンロードできるPDFファイルを用意しています。すべての情報の一括印刷や、必要な部分のみの分割印刷が可能です。必要に応じて活用ください。

[こちら](#)よりダウンロードできます。

【CSR Communication Book 2013 -持続可能な社会の実現に向けたカシオの挑戦-】

カシオの取り組みの中から特にお伝えしたい内容について、カシオ創造憲章をもとにまとめました。一般の方でもわかりやすくご覧いただけるよう報告しています。



「CSR Communication Book 2013 -持続可能な社会の実現に向けたカシオの挑戦-」

[こちら](#)よりダウンロードできます。

- 報告内容全体についての客観的な評価として、社外有識者からご意見を頂戴して掲載しています。また、環境パフォーマンスデータについては、信頼性を確保するために第三者検証を受けています。
- 編集にあたっては、以下内容より「社会にとっての重要性」と「カシオグループの重要性」の両面を考慮し、特に重要性の高い項目を選定しました。

【社会にとっての重要性】

- ・ 2012年版レポートでいただいた第三者意見
- ・ 2012年版レポートに寄せられたご意見やご要望
- ・ SRI（社会的責任投資）などが実施するアンケート項目
- ・ 下記ガイドラインに掲げられている項目

【カシオにとっての重要性】

- ・ 経営理念
- ・ カシオ創造憲章 行動指針
- ・ カシオグループ倫理行動規範に基づきカシオが重要と考えている事項

報告範囲

● 対象期間

2012年度（2012年4月1日から2013年3月31日まで）。
ただし、一部で過去の取り組みや直近の活動も記載しています。

● 発行時期

発行日2013年7月
（前回報告書発行2012年9月／次回発行予定2014年7月）

● 対象組織

カシオ計算機（株）にのみ適用されるものと、カシオグループも含んでいるものがあります。個別の対象範囲を定義しているものについては、当該箇所に明示しています。本レポートで、「カシオ」と記述している場合はカシオグループを、「カシオ計算機」と記述している場合はカシオ計算機（株）単体を意味します。
なお、環境会計、環境負荷データの集計・記載範囲は、カシオ計算機（株）の国内10拠点、グループ企業の国内10社、および海外22社です。

参考にしたガイドライン

- GRI（Global Reporting Initiative）「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3.1版」
- 環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」
- 環境省「環境会計ガイドライン（2005年版）」
- （財）日本規格協会「ISO26000：2010」
（GRIガイドラインの対照表はWebサイトに掲載しています）

お問い合わせ先

カシオ計算機株式会社 <http://casio.jp/>
CSR推進室（CSR全般について）
所在地 〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号
TEL 03-5334-4901 FAX 03-5334-4547
E-mail [✉csr-report@casio.co.jp](mailto:csr-report@casio.co.jp)

環境センター（環境全般について）
所在地 〒205-8555 東京都羽村市栄町三丁目2番1号
TEL 042-579-7256 FAX 042-579-7718
E-mail [✉eco-report@casio.co.jp](mailto:eco-report@casio.co.jp)

将来に関する予測、計画について

本レポートに掲載されている、カシオ計算機（株）とカシオグループの将来の予測や計画に関する記述は、現時点で入手している情報に基づいて判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれ事業活動の結果がこれらの予測とは異なることがあります。